



第4章 いきいき

政策目標 活気に満ちた生き生きとしたまち

施策の体系

施 策	主 要 施 策	主要施策コード
1 観光の振興	1 観光資源の活性化	4-1-1
	2 観光資源の情報発信	4-1-2
	3 観光協会の組織強化と支援	4-1-3
2 農林業の振興	1 担い手の確保と育成	4-2-1
	2 特産物のブランド化推進	4-2-2
	3 農業生産環境の整備	4-2-3
	4 豊かな森林の再生	4-2-4
3 商工業の活性化	1 商店街の活性化	4-3-1
	2 商工業経営の支援	4-3-2
	3 工業の振興	4-3-3
4 雇用環境の充実	1 企業経営の支援	4-4-1
	2 雇用の場の確保	4-4-2
	3 労働環境の充実	4-4-3

関連する個別計画

○棚倉町森林整備計画 ○棚倉農業振興地域整備計画 ○棚倉町人・農地プラン

施策1 観光の振興

◎施策の目標

観光資源の有効活用と魅力ある誘客対策を進めるとともに、広域連携による周遊型・滞在型観光の創出を目指し、交流人口の増加を目指します。

また、観光協会等の組織の充実を図り、観光資源の整備と活用が図られ「訪れてみたい」「また訪れたい」と思われる魅力があふれるまちを目指します。

さらには、訪れた人たちが快く過ごせる環境対策と町民の「おもてなしの心」の醸成を進めます。

◎現状と課題

- 観光施策の取り組みを強化するうえで、観光協会などの関係機関との連携と組織充実を図る必要があります。
- 町内に点在する歴史・文化遺産を観光資源として有効活用していく必要があります。
- ルネサンス棚倉の利用について観光客の拠点、滞在先としてふさわしい施設整備を図る必要があります。
- 既存の観光資源の魅力を高めるとともに、多様な媒体を利用して情報発信に努める必要があります。
- 観光施設やそれに携わる人が、観光客をあたたく迎える環境づくりが必要です。
- 農林業や商工業、行政等が連携した観光施策の推進が必要です。
- 町民アンケート調査において、観光振興で重要なことは「ふるさと産品の開発・流通の支援」に次いで、「情報提供・発信を行う観光拠点の整備」が多い回答でした。





◎主要施策

①観光資源の活性化

- ・既存の観光資源の整備を進めるとともに、新たな観光資源を発掘し活用することで、魅力的な観光地づくりを推進します。
- ・農業や自然などの地域資源を活用した体験型観光の充実を図ります。
- ・町内に点在する歴史・文化遺産を観光資源として有効活用し、その資源のネットワーク化を図り観光客の周遊性を高めます。
- ・観光ボランティアをはじめ、まちの魅力を紹介や案内できる人材の育成と確保に努めます。
- ・「おもてなしの心」を持って観光客を温かく迎えられよう、関係団体を育成するとともに、町全体の気運の向上を図ります。
- ・ルネサンス棚倉の計画的な改修と維持管理に努め、観光客が満足できる施設として利用促進を図ります。

②観光資源の情報発信

- ・魅力的な観光ルートの設定など観光客のさらなる利便性向上のため、観光案内板や観光マップなどによる幅広い情報提供に努めます。
- ・町の魅力を広くPRするため、農産物直売所「みりよく満点物語」やアンテナショップ等を利用した観光情報の発信に努めます。

③観光協会の組織強化と支援

- ・本町の観光事業の中核となる、棚倉町観光協会の組織強化に努めます。
- ・棚倉町観光協会及び各支部など、町の観光振興や活性化に取り組む活動について支援をしていきます。

◎施策の指標

	指標名	単位	現状値	目標値
1	山本不動尊入込客数	人/年	147,500	160,000

◎住民の役割

- ・町の観光資源について学習しましょう。
- ・町の魅力を認識し、町内外に広めましょう。

施策2 農林業の振興

◎施策の目標

魅力ある農林業の実現のため、農業と林業の連携した里山の保存による活性化を目指します。また、生業として成り立つ農林業経営の推進に向け、6次産業化を進めながら、直売施設の拡充と支援や都市と農村の交流を促進するグリーンツーリズムの推進に取り組みます。さらには、多様な担い手の育成や集落営農の組織化と基盤整備を進めるとともに、魅力ある経営に向けた支援を強化します。

◎現状と課題

- 農林業従事者の高齢化と後継者不足、遊休農地の増大など、農林業は様々な問題を抱えています。
- 農業の取り巻く状況の変化に対応するため、農地の集約化による生産基盤の強化や新たな農業従事者の育成と確保による経営基盤の安定化を一体的に取り組む必要があります。
- イノシシ等の有害鳥獣による農作物の被害が増大しています。
- 地産地消を基盤とする販路の拡充や、農産物の付加価値向上に向けて、たなぐら産ブランドの開発と確立を図る必要があります。
- 農作物については、放射能による風評被害の対策を図る必要があります。
- 町全体の7割を占める豊かな森林資源の荒廃が進み、森林の再生に向けた取り組みが必要です。
- 町民アンケート調査において、農林業振興で重要なことは「集落における後継者の育成・担い手の育成」が最も多い回答でした。
- 町民アンケート調査において、農地のあり方については「遊休農地を集積し経営規模の拡大を図る」が最も多い回答でした。





◎主要施策

①担い手の確保と育成

- ・農業を持続的な産業とするため、後継者の育成と支援を図りながら、U・I・Jターン者等の新規参入者の受け入れのための環境整備に努めます。
- ・認定農業者の育成と支援をしていきます。
- ・農業者間の交流を促進し、経営技術などの研修の充実に努めるとともに、経営感覚に優れた担い手の育成と確保に努めます。
- ・畜産農家の経営安定と後継者育成のため支援をします。

②特産物のブランド化推進

- ・JAや県立修明高校等と連携するなど、加工品の開発を中心に農産物等の6次化、ブランド化を図ります。

③農業生産環境の整備

- ・国や県の補助事業等を活用し、関係機関と連携して農業基盤の整備と適切な維持管理に努めます。
- ・農業の法人化や集落営農組織を育成・支援し、農業経営の効率化を図るとともに、農環境を支える兼業農家へ、各種助成制度の周知など情報提供の充実を図ります。
- ・観光分野と連携しながら多彩なグリーンツーリズムを支援します。
- ・作物の原発事故による風評被害払しょくのため、必要に応じて放射線の吸収抑制対策や線量測定などを行い、安全で安心な農作物の提供を支援します。
- ・有害鳥獣捕獲隊などと連携しながら、より積極的な有害鳥獣の捕獲を行います。
- ・遊休農地の発生防止と農地の多面的機能を維持するため、中山間地域直接支払制度などを利用し、住民と協働により農地の保全に努めます。

④豊かな森林の再生

- ・棚倉町森林整備計画に基づき、造林や下刈、間伐など適正な森林管理に努めます。
- ・森林がもつ多面的機能の利活用のため、良好な里山の再生と保全に取り組みます。
- ・林業経営の安定化と後継者の確保など支援を行います。



棚倉町ブランド認証マーク

◎施策の指標

	指標名	単位	現状値	目標値
1	認定農業者数	人	67	70
2	ブランド認証数	品	0	20

◎住民の役割

- ・地元で生産されたものを消費しましょう。
- ・所有する森林の整備に努めましょう。

施策3 商工業の活性化

◎施策の目標

商工会と連携し地域特性に合った魅力ある商工業を目指して、町内外の消費者ニーズをつかみ、観光と連携した付加価値のある魅力とにぎわいに満ちた商工業政策を推進します。

◎現状と課題

- 近年の郊外型大型店舗への買い物客の集中に加え、既存商店街では後継者不足や経営者の高齢化が進み、地域産業の活力低下が課題です。
- 中心市街地を中心に空き店舗が増加しているため、空き店舗を活用した新たな起業機会の創出に取り組む必要があります。
- 棚倉町中心市街地活性化計画に基づき、これまでハード的整備を進めてきましたが、今後は中心市街地に人を呼び込むための活動が必要です。
- 町民アンケート調査において、商業振興で重要なことは「雇用の増加や定住化による人口増」に次いで、「既存商店街の再生・活性化」「消費者ニーズに合った品揃え」が多い回答でした。
- 工業の振興を図るため、制度資金の情報提供や企業間の情報交換などを積極的に進める必要があります。





◎主要施策

①商店街の活性化

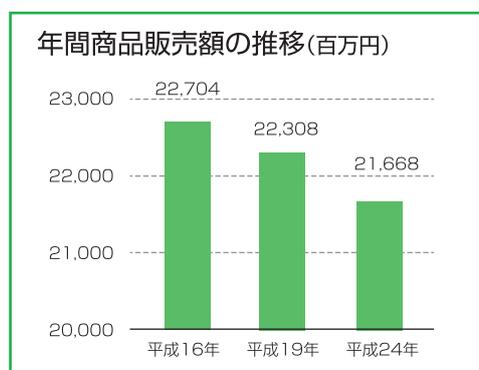
- ・商店街の賑わいづくりを創出するため、町の歴史や伝統文化を組み込んだ施策に取り組み、観光と一体となった相乗効果を図ります。
- ・商店街を歩いて楽しめる空間創出の工夫を重ねるとともに、物産販売施設等による空き店舗の活用を支援します。
- ・中心市街地の賑わいの創出に努めるとともに、商店街やまちづくり団体の取り組みを支援します。
- ・新たな商品の開発や販路の拡大を支援し、地域ブランド化の促進を図ります。

②商工業経営の支援

- ・商工業経営者の安定した社会的経済基盤を構築するため、ニーズに応えられる商工業経営を支援します。
- ・経営者間の交流の場を提供し、積極的な情報交換を促進します。
- ・商工会を支援するとともに、連携しながら商工業の発展に努めます。

③工業の振興

- ・企業の能力開発や商品研究、販路開拓などの支援と、制度資金などの充実した情報提供により経営基盤の強化を促進します。
- ・企業間の交流や連携を促進し、技術・情報・人材など経営資源の充実と事業の活性化を支援します。



資料：商業統計調査

◎施策の指標

	指標名	単位	現状値	目標値
1	年間商品販売額	百万円	21,668	22,500
2	製造品出荷額	百万円	61,690	70,000

◎住民の役割

- ・町内の商店街を積極的に利用しましょう。
- ・子どもたちに就業体験等の機会提供に努めましょう。

施策4 雇用環境の充実

◎施策の目標

積極的に企業等の誘致施策や地場産業の基盤強化を図り、産業の発展及び地域雇用の促進を目指します。

◎現状と課題

- 町民の雇用の場を創出し、地域産業の活性化を図るため、県や関係機関と協力した優良企業の誘致や、時代の流れに対応した起業への支援が必要です。
- 新規企業の誘致と既存企業との連携を強化し、連絡調整を密にして支援体制を構築する必要があります。
- 労働者の生活安定と福祉の向上を図るための制度の周知と、活用促進を図る必要があります。
- 町民アンケート調査において、企業誘致については「地元の雇用を増やす企業に来てほしい」が最も多い回答でした。





◎主要施策

①企業経営の支援

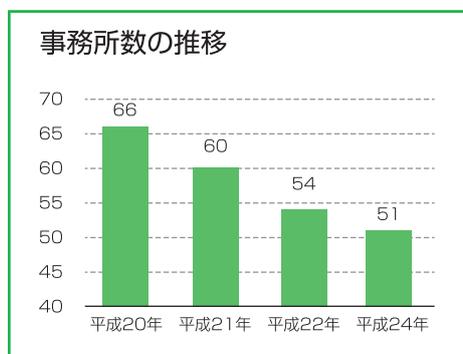
- ・企業の能力開発や商品研究、販路開拓などの経営力向上、さらには経営基盤の安定化を図るため、制度資金の充実と支援に努めます。
- ・企業間の交流や連携を促進し、事業の活性化に結びつけ生産基盤の拡大の支援を図ります。
- ・後継者や地域を活性化するリーダーなどの人材育成をはじめ、起業養成や新たな産業創出を支援します。

②雇用の場の確保

- ・積極的に企業との連携を図り、産業振興及び地域雇用の促進を目指し、既存企業の雇用の拡大と新たな優良企業の誘致を推進します。
- ・公共職業安定所などと連携し、無料職業紹介所を充実させ、町民の就労に対する支援を行います。

③労働環境の充実

- ・老若男女、障がいの有無にかかわらず、誰もが安心して働くことのできる労働環境の整備を企業に働きかけます。
- ・勤労者の生活安定と福祉の向上のため、各種制度の周知及び活用の促進を図ります。
- ・事業所の振興発展と未組織労働者の環境改善のため、勤労者互助会の加入促進を図ります。



資料：工業統計調査

◎施策の指標

	指標名	単位	現状値	目標値
1	事業所数	事業所	51	55

◎住民の役割

- ・事業所においては、福利厚生を充実させましょう。

優 秀 賞

住んでみたい10年後の棚倉町



近津小学校 5年 小濱 颯斗